

令和6年度尼崎市地域保健問題審議会議事録

1 日時

令和6年12月26日（木）午後2時から3時45分まで

2 場所

尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホール

3 出席者

（委員）藤原会長、菰野委員、原委員、牧委員、松田委員、永井委員、林委員、平家委員、八木委員、山川委員、由田委員、尾ノ上委員、渡邊委員
（委員13名）、

（市職員）安川局長、新家保健局参与、豊島保健部長、牧健康増進担当部長、濱田保健所長、鈴井医療担当部長、榎並企画管理課長、田原保健企画課長、河合健康医療財団担当課長、今井疾病対策課長、石井感染症対策担当課長、松田生活衛生課長、井上衛生研究所長、津田健康増進課長、新居健康支援推進担当課長、長谷川南部地域保健課長、小川健康増進課係長、丸山健康増進課係長、石崎健康増進課係長、桂山健康増進課係長、萩原疾病対策課係長
（市職員21名）

（事務局）久保保健局企画管理課係長、伊藤保健局企画管理課主事
（事務局2名）

4 欠席者

（委員）杉原副会長、岡田副会長、合志委員、條委員、丸山委員、東委員（委員6名）
（市職員）中北部地域保健課長（1名）

5 議事録

○ 開会あいさつ

委員の出席状況、傍聴者の状況（なし）報告

○ 安川局長あいさつ

○ 藤原会長あいさつ

○ 各委員紹介、事務局職員紹介

○ 議題

「第4次地域いきいき健康プランあまがさき」の進捗について

発言者	発言内容
藤原会長	「第４次地域いきいき健康プランあまがさき」の進捗について、事務局から説明をお願いします。
小川係長	(計画の概要について説明)
藤原会長	続いて、各分野の進捗について、まずは「分野１から４」までの説明をお願いします。また資料の構成についてもご説明をお願いします。
丸山係長	(「資料構成について」「各論 分野１～４」について説明)
永井委員	尼っこ健診について、対象となる小学５年生と中学２年生の受診率を評価指標にしているが、それぞれの対象生徒数は。
新居課長	小学５年生が３，４９５人、中学２年生が３，５８４人となっている。
藤原会長	がん検診における取組として、ＳＮＳでの情報発信を開始したとあるが、具体的にどのように取り組んだのか。
新居課長	ＳＮＳでの情報発信について、尼崎市の公式 Facebook や、公式X（旧Twitter）を活用し、情報発信に取り組んでいる。 乳がん月間の１０月には、尼崎城をピンクにライトアップしていることを発信するとともに、乳がん検診の重要性やがん検診のPR等についても発信した。
平家委員	尼っこ健診について、受診結果に異常があった場合、どのような対応をしているか。 また、尼崎市の子どもの健診結果については、他市と比較して、何か傾向はあるか。
新居課長	健診の結果が悪い場合は、保健師が保健指導をしており、その中で、医療機関の受診を勧める場合もある。 他市と比較した場合の傾向については、データが無く分析出来ていない。本市のデータのみであるが、分析したところ、肥満の子どもについては、そうでない子どもに比べて、生活習慣病のリスクを多く抱えていることが分かっている。

発言者	発言内容
由田委員	栄養・食生活、食育の分野において、公立幼稚園における体験活動として、園で収穫した野菜を使って、友達と一緒に食事をする等の取組事例が挙げられているが、この取組に栄養士は携わっているのか。
長谷川課長	公立幼稚園については調理室が無いため、食育の機会を作りにくいといった課題もあることから、本市の栄養士が調理器具持参で公立幼稚園へ行く等して、収穫した野菜をどのようにして食べるのかを説明したり、野菜の必要性や自分の作ったものを楽しく食べるといったことを伝えたりすることで、食育の推進を図っている。
由田委員	その取組についても追記して欲しい。
藤原会長	続いて、分野５～８について、事務局から説明をお願いします。
丸山係長	(「各論 分野５～８」について説明)
牧委員	薬剤師会では、例年市内の各中学校において、薬物乱用や喫煙、飲酒の問題についての研修を行っており、近年問題となっている一般用医薬品の乱用（オーバードーズ）についても取り上げている。 疾病対策課においても同様に、学校での研修に取り組んでいるとあるが、どのような内容か。
萩原係長	疾病対策課においては、学校に積極的に声をかけ、学校が実施する薬物乱用防止教室の講師として疾病対策課を呼んでいただき、生徒に向けて講話をしている。 また、令和５年度においては、オーバードーズの問題についても話題となっていたことから、松本俊彦先生を講師として呼びし、教職員や保護者向けに薬物乱用についての研修会を開催した。
牧委員	薬物乱用防止教室については、警察や薬剤師会、また疾病対策課などが講師となり、薬物乱用の問題について啓発を進めているところであるが、実態としてはオーバードーズに陥ってしまう子どもは増える一方で、更なる取組が必要であると感じている。 疾病対策課では高校生に向けての取組もしているか。
萩原係長	例年、市内の県立高校から依頼があり、生徒に向けて講話をしている。その際には、薬物依存症から回復された当事者も呼びし、薬物に手を出してしまった心理的背景や、精神的に辛いときに薬物に頼るのではなく、相談先に相談してほしいといったメッセージを伝えている。

発言者	発言内容
牧委員	薬局にて処方箋なしでの緊急避妊薬の販売することについて、医師会とともに検討を進めているが、尼崎市の対応はどうか。 また、性教育としても、性交から 72 時間以内に緊急避妊薬を内服することで妊娠を防げる割合が高くなること等を周知する必要がある。
石崎係長	今年度より市ホームページにて緊急避妊についての啓発を開始した。その中で、緊急避妊薬についても、処方している医療機関が確認できる厚生労働省のホームページリンクを掲載するなどして、周知を図っている。
藤原会長	尼崎市の自殺率について、令和 4 年は兵庫県や全国と比較して高くなっているが、原因は分かるか。
萩原係長	自殺の背景や理由については調査が困難であるため、令和 4 年に尼崎市の自殺死亡率が高くなっている原因は不明である。しかし、令和元年の自殺率は尼崎市の方が兵庫県や全国と比較して低くなっていることもあり、5 年平均で見ると全国平均と大きな乖離はない。 全国と比較して高い水準が続くようであれば、具体的な理由等も調査して対策を検討したい。
藤原会長	続いて、資料「データ分析の報告」について、事務局から説明をお願いする。
林委員	肝及び肝内胆管がんによる標準化死亡比について、兵庫県と比較して尼崎市は非常に高くなっている。全国では C 型肝炎の治療方法が大幅に進展したため、肝臓がんの死亡率は大幅に減少しているが、尼崎市では肝炎患者数も減っておらず、患者数が非常に多い状況である。他の地域とは状況が大幅に違う認識が必要である。 飲酒の分析について、20～30 代の飲酒量が激減しているため、将来的に問題にならない可能性が高く、分析方法の検討が必要である。 特定健診について、受診した人とそうでない人で、死亡率に差が無いことがデータで出ている。そういうことも踏まえ、取組を検討してほしい。 関西労災病院で最も課題となっているのが、他の病院と比べて結核の感染者が圧倒的に多いことである。結核患者をどのように減らすか、対応を検討してほしい。

発言者	発言内容
八木委員	喫煙に関する分析の中で、たばこを吸っているかどうかという数値があるが、電子たばこも含んでいるか。 電子たばこを含めた喫煙に関する問題の周知や教育をしていく必要がある。
小川係長	たばこを吸っているかどうかという問いについての回答は、健診の問診結果であるため、本人の主観による。
原委員	このデータ分析については、尼崎市国保加入者のみのデータから分析されているため、尼崎市を代表するデータとは言えない。ハーティ21での企業健診結果などから、社保加入者のデータも含めて分析することを検討してほしい。 また、喫煙行動別の医療費伸び率に関しての分析において、R元喫煙していて、R5には喫煙をしていない方の医療費が最も高いという分析結果となっているが、禁煙した健康意識の高い方の医療費が高くなっていると考えられ、この分析結果をどのように見るのか難しいところである。
永井委員	ハーティでは地域巡回健診や事業所健診を実施しており、健診結果については、今年度より、個人情報削除後のデータを保健所に提供している。
藤原会長	このデータ分析について、尼崎市が新しい試みを開始したことを評価するが、分析の内容については、データの内容など、引き続き検討が必要である。
藤原会長	以上をもって、本日の審議を終了する。

以 上